

2 0 0 3 年度事業報告書

2003 年 4 月 1 日から 2004 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

1 . 事業の成果

特定非営利活動法人の設立（2001 年 8 月 24 日）から第 3 期目の 2003 年度は、事業計画に基づく各種の活動を、会員の自主的かつ積極的な提案と参画によって進め、事業内容、規模、活動地域も拡大し、まちづくり社会貢献団体としての成果をあげることができた。

（ 1 ）主な事業内容

任意団体時代から継続する都市計画キャラバン事業や各種の研究会等の活動は更に展開し、自主事業の中心的な人材支援事業は各地のまちづくり活動を支援し、政策提言事業も新たな制度提案や普及活動を進めた。

受託事業として主なものは、全国都市再生モデル調査として国交省から「美しい街づくり調査」を行い、全国各地で美しい街づくりを進めるキャンペーン活動を展開した。また、都市計画の提案制度に関するシンポジウムを主催して制度の普及を図った。

2003 年度事業計画に基づいて、事業としては、特定非営利活動に係る事業のみを対象として、収益事業は行っていない。具体的には 2 に記載する事業を実施した。

（ 2 ）実施体制**会員**

2004 年 3 月 31 日現在の会員数（カッコ内は 2002 年度末）は、終身会員 9（8）、正会員 438（430）、個人賛助会員 118（79）、学生会員 9（7）、団体賛助会員 10（11）の、計 584（535）会員となった。

理事会

37 名の理事により理事会主導の運営体制を敷いて、毎月の理事会で事業全体について内容を検討して活動の方針を進めた。

会長・副会長・常務理事による三役会と、事業ごとの担当理事制（財務、組織、事業、人材支援等）を敷いて機動的に活動に対応してきている。

各種委員会

広報委員会・国際委員会・交流委員会・家協会賞委員会・キャラバン委員会・職能特別委員会及びウルバニカ特別委員会がそれぞれ活動した。

支部

北海道支部にくわえて、新たに浜松支部が誕生した。また、横浜、福岡等で新支部を立ち上げようとする課員たちの活動が起きている。

各種事業運営会議

各種事業に対応して、それぞれ事業担当理事と担当会員が運営会議を組織して活動を采配した。

各種研究会

オランダ都市計画研究会・街なか研究会・遊歩都市研究会がそれぞれ活動した。ハワード研究会が休止し、地区計画研究会を廃止した。

事務局

東京本部において常務理事兼事務局長 1 名、専任事務局員 1 名及び臨時職員が常駐して全体的な活動サポートを行い、北海道支部及び浜松支部においてはボランティア会員等による事務局で、それぞれの地域活動サポートを行った。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
調査研究	人材支援国内NPO連携調査	・都市計画家と市民やまちづくり市民団体等との連携を進めるプログラムを作成するために調査研究を実施。 ・「まちづくりNPO法人の実態およびニーズ調査」の業務委託先であるNPO法人「都市住宅とまちづくり研究会」からの報告および、3箇所のまちづくりセンター所長等へのヒアリング等を踏まえて、調査報告書を作成中。 ・運営会議を開催した。	4/1 6/4 随時	協会会議室	まちづくり市民・NPO連携調査検討会メンバー6名	6名	220
	海外人材支援調査	・海外における都市計画に関する専門家教育及び人材支援プログラム等について事例の調査を行い、将来の日本都市計画家協会の人材支援プログラムや教育研修プログラム等の検討に資する、情報の収集及び整理を行い、職能特別委員会とまちづくりの意外な障壁研究会と連携して報告会を開催した。 ・調査対象国(アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、アジア)	10/29 10/31	協会会議室	ワキングチーム6名	公開45名	1,500
	オランダ都市計画研究会	・公開研究会開催 ゲスト：笠 真希さん (早稲田大学芸術学校講師) テーマ：オランダの都市デザインの歴史～都市計画、オランダにおける職能団体	8/8	協会会議室	幹事8名	公開15名	10
		・出版企画に関する検討会を4～6月にかけて3回開催した。(研究会の成果を出版物にまとめる提案について検討) ・オランダ都市計画研究会だよりの発行(51～52発行)	6/23 ほか	協会会議室 ほか		非公開	
	街なか研究会	第32回研究会 京島の路地について ～密集市街地の路地空間を考える～	4/24	協会会議室	幹事10名	公開15名	230
		第33回研究会 食い倒れキャラバン in 十条	5/17	十条		公開24名	
		第34回研究会 路地シリーズ第3弾 三業の路地神楽坂	6/14	協会会議室		公開32名	
		第35回研究会 米国メインストリート・プログラム	8/25	協会会議室		公開22名	
		全国路地サミット運営会議	9/17	協会会議室			
		第36回研究会 古河市の蔵の活用方法を考える	10/22	協会会議室		公開20名	
第37回研究会 路地サミット in 十条		11/15	家政大学		公開60名		
第38回研究会 北区・品川近代工業150年	12/18	協会会議室		公開8名			
第39回研究会 神田のまちの再生とコーポラティブハウジング	3/5	協会会議室		公開12名			

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
調査研究	遊歩都市研究会	第3回研究会 都市交通と駐車場について	5/14	協会会議室	幹事 17名	公開 14名	210
		幹事会	6/25,3/10	協会会議室		非公開	
		第4回研究会 フライブルグの街と交通	7/29	協会会議室		公開 23名	
		第5回研究会 浅草を知ろう・連続企画	9/2	協会会議室		公開 10名	
		第6回研究会 浅草を知ろう・連続企画	10/25	協会会議室		公開 24名	
	まちづくりの意外な 障壁調査研究会	・研究会(第1~6回)を開催	7/18,9/16, 10/21,10/31 1/6,3/12	協会会議室	運営メンバー 7名	非公開	40
		・第4回研究会は国際委員会と職能特別委員会と連携して開催 テーマ:ドイツの都市計画システムと専門家の位置付け 講師:大村謙二郎氏	10/31	協会会議室		公開 23名	
	型社会研究会 (仮称)持続	・新規設置 ・運営メンバー募集 ・準備会開催	3/30	協会会議室	運営メンバー 19名	非公開	0
	づくり研究会 自転車まち	・新規設置 ・運営メンバー募集 ・準備会開催	3/18	協会会議室	運営メンバー 募集中	非公開	0
	研究会 少子・高齢化	・新規設置 ・運営メンバー募集			運営メンバー 募集中		0
マナー都市リスク ジメメント研究会	・研究会(第1~4回)を開催	11/25, 1/9, 1/30, 2/20		運営メンバー 16名	非公開	0	
政策提言	シンポジウム つくば	・研究学園都市建設、閣議決定から40年目の契機に、これまでのつくばの街づくりを振り返り、市民と共に現在の街の姿を評価した上で未来に向けた展望を見出すことを目的する ・シンポジウム準備会開催 ・ヒアリングを実施 ・ホームページの立ち上げ	5/17,6/7, 6/11,6/12, 6/15,6/27, 6/30,7/3, 7/7,7/10, 7/11	協会会議室 つくば市内	運営メンバー 30名	非公開	1,750
		・シンポジウム開催 テーマ:変えるつくば・残すつくば ~つくばにはその価値があるから~	7/21	つくば国際会議場		公開 160名	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
政策提言	公共交通 利用促進策	・利用者がつくるバス電車マップ「ふくい のりのりマップ」を発行 ・マップDEのりつぎ調査隊、調査隊ワークショップを実施	4月 9月～10月 10/25	福井市ほか 周辺市町村	運営メンバー 20名	公開75名	630
		・まちづくり進歩ジウム開催 “つないで活きる電車・バス” ～のりのりマップから見えてくる福井の公共交通とまちづくり～	11/24	福井市		公開200名	
	都市再生特別地区意見交換会	・関係区の責任者に参集願って、都市再生特別地区制度あり方・取組み方針等について、会員有志との意見交換会を開催。 ・準備会を開催	4/2	協会会議室	運営メンバー 15名 自治体ゲスト 5名	非公開	2,160
		・第2回 都市再生特別地区の運用に関する意見交換会	5/9	ニッセイ虎ノ門ビル会議室		公開53名	
		・国土技術研究センターからの受託業務として、都市再生特別地区及び都市計画提案制度に関して同センターの研究成果を広く内外に情報発信するとともに、事業者・行政・地域住民の相互理解を深めることを目的とした研究会およびシンポジウム等を実施した。 ・運営会議を開催	7/28,8/13, 8/18,8/22, 8/28,9/10, 9/12,9/17, 9/24,10/8, 10/15,10/23 10/29,11/14 11/18	協会会議室		非公開	
		・都市再生特別地区及び都市計画提案制度について、自治体の都市計画実務責任者と事業者コンサルタント等の民間実務者との間で専門的な意見交換ができる場として、研究会を開催。 ・名称：都市再生特別地区・都市計画提案制度の活用手法研究会 ・参加自治体：東京都、千代田区、中央区、港区、新宿区、品川区、横浜市	11/25	いきいきプラザ一番町		公開67名	
		・都市再生特別地区及び都市計画提案制度に関する問題点、課題等を広く議論するため、都市再生プロジェクトの社会的評価に関する主要論点を、協会メンバーで構成する運営委員会シンポジウム班で事前に整理し、それを基に識者による討論を展開した。 ・名称：21世紀の都市計画と都市再生に関するシンポジウム	11/27	すまい・るホール		公開270名	
	都市計画区域再編に関する政策提言	・都道府県を対象として、都市計画区域に関するアンケート調査を実施 ・都道府県、市町村の都市計画担当者を招いて、都市計画区域再編についての状況を報告してもらおうとともに、都市計画区域のあり方について議論する会議を設ける。 ・運営会議の成果を多くの方々に知らせ、今後の都市計画区域再編に生かすために、シンポジウムを開催 ・運営会議開催 ・研究会作業チーム会議	12/12,1/14 2/16,3/8, 3/24	協会会議室	運営メンバー 18名	非公開	1
	普及啓発	都市計画キャラバン ・北海道支部が担当し、『美しいまちなかの再生と戦略』を共通テーマに、道内5都市で同時開催。 ・各都市において今後のまちづくり運動の基盤となる連携体制や協働関係が築かれ、今後もキャラバンの取組みを発展させるための活動を継続する ・4～6月実施準備会開催 ・7～8月地区キャラバン開催(12回)	4～8月	北海道(札幌市、函館市、旭川市、帯広市、釧路市)	実行委員会メンバー 約30名	公開のべ547名	6,170

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
普及啓発	キャラバン 都市計画	・北海道キャラバン本大会開催(6地区の活動成果の発表と共有、発展のための議論等)	8/24	同上	同上	公開のべ160名	同上
		・9~2月アフターキャラバン開催(本大会の成果を踏まえたフォローアップ)	9~2月			公開のべ270名	
		・総括フォーラム開催(美しいまちづくり・むらづくりシンポジウム)	2/27			公開100名	
普及啓発	都市計画画家協会賞	・第6~8回委員会開催(募集要綱、応募方法の検討、応募要綱の確定) ・チラシを配布 ・メーリングリストによる周知 ・全体で34、市民・NPO部門14、まちづくり計画・手法・制度部門2、まちづくりプロジェクト部門7、まちづくり教育部門10であった。重複応募として学生まちづくり部門7、北海道支部5、浜松支部1である。 ・家協会メンバーを中心とした選考委員会で大賞を選考する	4/4, 10/1, 11/7	協会会議室	委員5名	非公開	1,650
		都市再生草の根 シンポジウム	・「都市再生」の全国的展開と定着を図り、地方都市中心市街地再生の街づくり運動、国の観光戦略の柱の一つとして内外からのVISITORをもてなす街づくり運動を目指す。 ・準備会開催	4/8	協会会議室	運営メンバー5名	非公開
	・第1回美しい街づくり-日本シンポジウム開催(シンポジウムを契機として具体化、実現を目指す)	5/20	弥生講堂 一条ホール		公開約145名		
	美しいまちづくり 日本全国キャンペーン	・都市再生モデル調査に選定され、受託事業として「美しいまちづくり推進調査」を実施。 ・運営会議、パンフレット検討会議を開催。 ・同調査については、東京商工会議所と共同申請し、又、調査を共同したNPOなどが所在する自治体の推薦を得た。 ・具体的な活動としては、札幌市、東京都(江東区) 諏訪市、犬山市、桑名市、福岡市の6都市で草の根型の美しい街づくりの社会実験を行った。	6/17,7/16, 8/5,9/25, 10/14,11/5, 11/6,11/20, 11/28,12/4, 12/15,2/4, 3/1	協会会議室	運営メンバー8名	非公開	13,300
		・「美しいまちづくり全国シンポジウム」および「美しいまちづくりヤングフォーラム」を開催(各都市の取り組みを紹介・討議したうえで、名古屋宣言を採択し、発信した。)	3/20	名古屋国際センターホール		公開147名	
		・「美しいまちづくり全国シンポジウムPART2 IN 犬山」を開催(愛知県内の3大学の研究室の協力を得て、都市再生モデル調査の一環としてシンポジウムを実施、調査の成果を発表した。)	3/21	犬山市福祉会館中ホールほか		公開110名	
モデル調査・小樽 全国都市再生	・本年度整備が完了する中央通りを骨格として、JR小樽駅と小樽港を結ぶ新都市軸を活用した新たなまちづくりの方向を検討することを目的に、全国都市再生モデル調査を実施。雪あかりの路開催期間中に、小樽屋台村ガンガン屋台と映画ロケセット公開などを実験的に開催するとともに、小樽の新しいまちづくりについて話し合う場として「まちづくり懇談会」を実施した。第1回目のテーマは「協働による小樽ならではの美しいまちの再生を目指して」と設定し、本部より鈴木俊治氏を迎え、メインストリートプログラムを小樽に当てはめた場合の展開例などを説明して頂いた。	2/28	小樽市役所消防庁舎6階講堂	支部会員13名 本部会員1名	公開参加者57名	530	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
普及啓発	交流サロン・懇話会	・交流委員会(第19~29回)開催	4/22,5/15,6/20,7/16,9/17,10/15,11/21,12/17,1/21,2/24,3/22	協会会議室	委員17名	非公開	232
		第4回東京サロン「利用者がつくる公共交通マップ-地方都市の公共交通利用を進める市民活動」	4/10			公開12名	
		懇話会「疎の幸福論-博報堂生活総研の21世紀観測」	5/23			公開15名	
		第5回東京サロン「名古屋からの外国人への情報発信~多文化共生社会を迎えて~」	6/18			公開5名	
		第1回地域サロン in 小布施「小布施の老舗をたずねて」	7/26~27			公開17名	
		懇話会「マンション建て替えと都市再生」	9/10			公開18名	
		第6回東京サロン「岩手における新産業創出の動向」	10/30			公開11名	
	インターキャラバン	・第2回インターキャラバン開催 テーマ:食文化に見る地域力(蕎麦をテーマに、長崎県対馬と山形市+東京の三元画像中継で実施。)	12/12	長崎県対馬 山形市 東京都		公開25名	380
	北海道まちづくり講演会	・美しいまちづくり・むらづくりシンポジウム 主旨:「美しいまちなかの再生と戦略」をテーマに展開した都市計画キャラバン北海道の総括として開催 概要:基調講演(辻井、金蔵、小澤各氏) 美しいまちづくり・むらづくり事例発表(6地区) パネルディスカッション、交流会	2/27	札幌市	支部会員約30名	公開100名	129
	まちづくり出版・販売	・「都市・農村の新しい土地利用戦略」(家協会編集:柳沢厚 学芸出版社 3500円)発行および販売を行った。	常時	各種イベント会場等	10名		1,430
支部立ちあげ	・福岡支部立ち上げ準備会 ・インターキャラバン ・フラワーアップ天神への参加 ・「福岡地区会員の集い」地域づくりセミナー開催	9/29, 11/10 12/12 1/14 2/18	福岡市	運営メンバー約10名	のべ12名 公開多数 公開約70名	0	
浜松支部支援協力	・歩いて暮らせる/自転車によるまちづくり研究会(浜松市街地での歩く環境、自転車歩行環境を検討し、04年度花博にちなんで自転車で走行するイベントを企画)	7/6,10/18,12/18,2/19	浜松市 協会会議室	支部会員等約20名	公開多数	320	
	・まちなみ調査(笠井地区をとくに集中して実施し、連続立面図を作成するとともに、笠井地区及び近傍の寺田家、笠井郵便局、竹山家の簡易実測図を作成した。また調査結果を地元で披露する展示会の準備を行った。)	7/30,7/31,8/5,8/10,8/11,8/13,10/7,11/3,11/14,12/8,2/15	浜松市		非公開		
	・景観研究会(特に市街地の色彩環境の悪化が懸念されていることから、景観研究会として市民参加によるまちの色彩調査をNPO法人街の色彩を考える会との協働で実施)	1/17,2/21,2/28,3/14			公開多数		
	・まちづくり講演会 「布野修司氏講演会『京都 CDL:学生によるまちづくりへの参加』」	4/23	静岡市		公開50名		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
支援協力	人材派遣助成 (自主事業枠)	・本年度は、次の6団体に専門家派遣を行った。NPO汎房総地域づくり研究会(千葉県) NPOふるさと研究会(長野県) 女の目で大阪の街を創る会(大阪府) 市川地区中央部まちづくり懇談会(山梨県) 高竜まちづくりの会(静岡県) 久我山まちづくりの会(東京)。 ・本事業により専門家が入り専門的アドバイス(法律、事業手法、事例など)を受けることで活動の道が開かれたという評価を派遣団体から受けている。 ・運営および選定会議開催	6/20,8/25,10/8,10/16	東京都 千葉県 長野県 大阪府 山梨県 静岡県	運営メンバー 5名	公募 6件	6,726
	人材派遣助成 (受託事業枠)	・「城下町とっとり再生計画」の策定につき、鳥取市より鳥取大学経由で受託した調査を実施した。		鳥取市	会員2名	鳥取市民 多数	800
育成研修	まちづくり塾 講師派遣	特別講義 (講師:伊藤滋会長)	1回(1~2月)	武蔵野市	会長1名 会員2名	非公開 50名 (自治体関係者)	300
		住民との協働によるまちづくり (講師:永松栄会員)	9/4				
		環境とまちづくり (講師:稲垣道子会員)	10/31				
	ウルバニカ 講演会	第12回ウルバニカ講演会 「環境倫理学と都市」	7/18	協会会議室	委員20名	公開13名	170
		第13回ウルバニカ講演会 「補完性の原理」	3/15			公開15名	
	まちづくり人材研修	・雇用・能力開発機構(アビリティガーデン)と協力して、建設業界のビジネスチャンス拡大を目的としてまちづくり担い手育成の能力開発セミナーを企画・実施。 ・運営会議開催	8/7,9/16,9/26,10/2,10/8,1/20 8/26	協会会議室 東京建設業協会	運営メンバー 4名 講師10名	非公開	280
・セミナー「地域密着型事業から切り開く建設業生き残り」都市再生は新しいビジネスチャンスの宝庫 主催:雇用・能力開発機構(アビリティガーデン) 協力:NPO 日本都市計画家協会		12/1~12/2	雇用・能力開発機構生涯職業能力開発促進センター		公開26名 (建設業界の経営幹部、ミドルマネージャー対象)		
北海道まちづくりセミナー・学校	・スチューデント・セミナー 主旨:都市計画を学んでいる学生が家協会会員と交流したり、仕事を体験しながら、実践的な知識や経験を得る機会を提供する 概要:今年度は第一ステップとして、道内各大学の学生と家協会支部会員との交流会を開催	6/27	札幌市内 (かでの2・7)	支部会員・事務局12名	公開 学生12名	38	
	・STEP2004 主旨:北海道の学生たちがジャンルを越えて連携し、多様なアートやパフォーマンスなどを発信する活動を展開する 概要:さっぽろテレビ塔のスペースを3日間借りて、学生たちのさまざまな表現活動を展示・発表・発信するプログラムを実施	3/26~28	さっぽろテレビ塔		公開 一般1000名 学生100名		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
育成研修	北海道研究会	・タイディタウン運動研究会 主旨：アイルランドのタイディタウン運動の起源、理念、手法等を研究し、北海道の都市・地域づくり活動に活用する 概要：支部会員を中心とする研究会の開催、ミニフォーラムの開催、タイディタウン運動を紹介する冊子の制作等を実施略	研究会 6/12, 7/23,8/28, 9/30,10/21, 11/26,12/26 1/28,2/19, フォーラム12/5	研究会はその都度変更。 フォーラムはさっぽろ村コミュニティ工房	支部会員約10名	公開のべ100名程度	223
		・ラーバン研究会+線引き制度研究会 主旨：都市と田園の境界エリア(ラーバンエリア)の新しい土地利用の具体像を探り、実現化のための手法を研究・提案する 概要：ラーバン研究会のメンバーが主体となり、旭川地区のキャラバンで都市レベル、地域レベルでの議論を展開	5/26、6/24、 7/17、8/7、 8/24、11/17	札幌市、千歳市、旭川市	ラーバン研究会メンバー10名	公開のべ30名	
		・安全安心まちづくり研究会+まちづくり学習研究会 主旨：「総合学習」に「まちづくり教育」と「安全安心教育」を導入・展開するために教職員との交流研究を実施する 概要：TOSSと共同でまちづくり教育シンポジウムを開催、発寒地区で小学校とタイアップした安全安心WSを開催	5/30,6/27, 8/24,11/20, 2/20,2/23	かでの2・7、チサンホテル札幌新館、発寒小学校	支部会員10名	公開のべ200名	
職能確立	職能確立事業	・復活職能特別委員会(第1~6回)開催	9/18,10/29, 10/31,12/11 2/5,3/1	協会会議室	委員19名	非公開	10
		・入札問題5団体会議	8/27	協会会議室ほか		非公開	
国際交流	海外専門国際講演会	・国際セミナー：土田、吉田、宮沢、佐藤「中国における都市環境デザイン」 ・国際セミナー：M.ジェンクス「コンパクトシティ～環境共生と持続可能な都市～」	5/31 11/17 東京 11/19 名古屋	建築家会館 工学院大学 名城大学	委員7名	公開50名 公開200名 公開200名	100
	家・組織との交流	世界都市計画専門 APA大会に派遣 American Planning Association (APA) 全国大会に正式招待され、委員長が代表参加。APA、AICP、RTPI、CIPの会長等と意見交換		デンバー		公開多数	
情報発信	会報発行	・広報委員会(第13~19回)開催	5/30,7/30, 9/24,10/28 12/10,1/28 2/25	協会会議室	委員18名	非公開	2,383
		特集記事、活動報告、組織状況など 春：38 合併後の市町村像を考える 夏：39 第1回日本都市計画家協会賞秋：40 都市計画キャラバン北海道大会 冬：41 渋谷地域を語る、プロジェクト提案を活用した都市再生	季刊4冊			会員、自治体関係者、一般計3000部	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
情報発信	ニューズレター発行	活動報告、事業予告等	月刊 12 回		事務局	会員他 16 名	45
	インターネット更新	会組織紹介、活動報告、事業案内、入会案内等、	随時		事務局	公開多数	64
	メール配信	イベント情報、紹介情報等	随時		事務局	配信多数	0
	北海道情報交流	支部ホームページの更新と運営	随時		支部会員 3 名 事務局 1 名	公開	0

(2) 収益事業 無し

2003 年度 財産目録

(2004年3月31日現在)

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

(単位:円)

科目・摘要		金額	
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高 東京	1,146,324	
	現金手元有高 北海道	17,146	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店	16,712,202	
	北洋銀行札幌駅南口支店	113,438	
	みずほ銀行神谷町支店(浜松支部)	41,889	
郵便貯金	郵便貯金	70,020	
	郵便振替口座	10,907,640	
売掛金	国土交通省 美まちづくり	13,300,000	
	国土技術研究センター	4,200,000	
	小樽企画政策室	535,500	
	石狩市地域政策補助金	2,200,000	
立替金	テレパック	409,748	
仮払金	愛工大 美まちづくり	2,779	
	流動資産合計		49,656,686
2 固定資産			
工具器具備品	パソコン1台	59,006	
電話加入権		149,968	
差入敷金	チャンピオンビル保証金	1,573,735	
	固定資産合計		1,782,709
	資産合計		51,439,395
負債の部			
1 流動負債			
仮受金	都心コンベンション実行委員会	452,474	
未払金	人材支援海外調査費等外注費	5,928,403	
	北キャラバン委員会等交通費	1,636,542	
	北キャラバン小樽再生雑給	1,498,050	
	報告書等印刷費	633,780	
	美まちづくり講師謝金	336,823	
	原稿料・会議費等	1,084,254	
預り金	職員に対する源泉所得税	185,425	
	職員に対する労働保険料	26,940	
	職員に対する住民税	5,400	
	預り源泉税	86,220	
	流動負債合計		11,874,311
	負債合計		11,874,311
	正味財産		39,565,084

2003 年度 貸借対照表

(2004年3月31日現在)

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金	1,163,470	
預金	27,845,189	
売掛金	20,235,500	
立替金	409,748	
仮払金	2,779	
流動資産合計		49,656,686
2 固定資産		
工具器具備品	59,006	
電話加入権	149,968	
差入敷金	1,573,735	
固定資産合計		1,782,709
資産合計		51,439,395
負債の部		
1 流動負債		
仮受金	452,474	
未払金	11,117,852	
預り金	303,985	
流動負債合計		11,874,311
負債合計		11,874,311
正味財産の部		
前期繰越正味財産		34,717,161
当期正味財産増加額(減少額)		4,847,923
正味財産合計		39,565,084
負債及び正味財産合計		51,439,395

2003 年度 収支計算書

(2003年4月1日から2004年3月31日まで)

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

(単位:円)

経常収入の部		
1. 会費収入		
正会員会費収入	13,170,000	
学生会員会費収入	45,000	
賛助会員(法人等)会費収入	2,300,000	
賛助会員(個人)会費収入	1,070,000	16,585,000
2. 事業収入		
調査研究事業	211,000	
政策提言事業	4,999,680	
普及・啓発事業	19,335,439	
支援・協力事業	997,500	
人材育成・研修事業	899,000	
職能確立事業	0	
国際交流事業	0	
情報発信事業	42,000	26,484,619
3. 寄付金等収入	20,390,000	20,390,000
4. 雑収入	267,660	267,660
5. 受取利息		
預金利息	222	222
経常収入合計(A)		63,727,501
経常支出の部		
1. 事業費		
調査研究事業	2,216,858	
政策提言事業	4,544,040	
普及・啓発事業	22,759,218	
支援・協力事業	7,747,770	
人材育成・研修事業	1,015,328	
職能確立事業	10,788	
国際交流事業	99,363	
情報発信事業	2,753,989	41,147,354
2. 管理費		
事務所賃借費・水道光熱費	4,020,011	
人件費・交通費	8,161,252	
その他	5,550,961	17,732,224
3. 予備費	0	0
経常支出合計(B)		58,879,578
当期収支差額(A) - (B)		4,847,923
前期繰越収支差額(C)		34,717,161
次期繰越収支差額(A) - (B) + (C)		39,565,084